

平成30年度自己評価結果公表シート

学校法人 三愛学園

1、 本園の教育目標

理 念：

生まれながらにして持っている人間の善意を目覚めさせ、幼児それぞれの尊い素質と個性を温く培い、そして人間が成長し、生きていく為、社会に調和した人格の芽を導き育てることが本園の目的であり理想であります。社会に受け入れられない人格は本人自身の不幸は言うまでもありませんが、それはまた社会の不幸であるといえます。人間の個性と素質といった全人格の基礎が幼児期に方向づけられることを思うとき、幼児教育の重要性を痛感するものであります。

本園は三愛学園と称しますが、三愛とは「自愛、互愛、博愛」のことであり、自分自身を愛することの重要な意味を悟り、それから出発して他人を、また社会を広く愛するに至る人間社会における愛の調和を訴え、実践する意味であります。人類愛こそは世の中を美しく、和やかにする基盤であると確信いたし、「自愛、互愛、博愛」を本園の幼児教育の基本方針に掲げております。本園はこの重要な使命を自覚し、この理想に向かって教育の一端に貢献する所存であります。

目 標：

幼児期は特に心身の発育の盛んな時期です。この幼児期に心情、意欲、態度、生活習慣など、生涯人格形成の基礎が培われる重要な時期であることを踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針を、そして上記の理念を基本として、下記の本園の「園訓」に基づいて「教育目標」を設定し、乳幼児の視点に立ち保育者や保護者、地域の方々の愛情、温かい見守りの中で、次世代を担う子供達が伸びやかに健やかに、その素晴らしい素質を伸ばすための土台をしっかりと作ってゆくの为本園教育と養育の大きな役割であると考えております。さらに、社会の役割、保護者の多様なニーズに対応し、地域の子育ち、親育ちの為の子育て支援の拠点として、地域や保護者との連携を図りながら、愛情と喜びをもつ子育て支援の輪を広げ、努めることを目指します。

本園の

「園 訓」 …… 自愛・互愛・博愛

「教育目標」 …… ☆ 健康教育、情操教育、創造教育を通して、
お子さまの個性をはぐくみます。

☆ 集団生活の中から、自分を知り、他人を知り、そして自然を知る。

☆ のびやかに、そして、すこやかに。

自 愛 = 健康教育……健やかに、たくましく

互 愛 = 情操教育……心がはずみ、

博 愛 = 創造教育……やるき、目の輝き

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園内研修 園外研修で学んだことを実践し、一人一人の資質を高める。
- ・保護者に対して子育て講座を開催し、共に子どもの育ちを確認し、関わり方を学ぶ。
- ・就労支援・子育て支援は子どものことを真ん中に考えて取り組む。
- ・普段から職場に話しやすい雰囲気を作り、問題解決をはかって、働きやすい職場づくりをする。
- ・子育て支援の面で地域に貢献し、町内会、小学校、中学校との連携をとり、地域に開かれた幼稚園をめざす。

3、 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・学園一体となって行事を取り組み、0歳から5歳まで見通しをもって保育・教育をすすめていく。	・行事は、各部門から係を決め、話し合いをしながらすすめている。0歳から5歳までの発達を学んだ上で行事に取り組んでいる。
・ 就労支援	・就労されている母親が増えてきているのでPTA活動の見直し、負担軽減をはかっている。
・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放の日に学園集会を行い、体操・ダンス・ゲーム等を地域の親子と一緒に楽しんでいる。 ・月1回の親子ひろばを年齢毎に取り組み、随時受け入れをして、利用しやすくしている。 ・職員が年齢ごとの発達の特徴、関わり方を話し、お母さんの困っている事等、相談に応じている。
・働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩室を設置し、休憩を取りながら職員同士の交流、休憩時間の確保をしている。 ・年に2回（前期・後期）全職員のヒアリングを行い、問題解決に結びつけている。 ・悩んだ時は、時間をとって相談に応じている。
・個々の力量アップとチームワークづくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士・保育研究の第一人者であるスーパーバイザーに指導を受けた。 ・日々の実践の中で子どもに寄り添い、発達を促している。事例を学び合い、学んだことを実践に繋げていこうと話合っている。 ・外部の研修にも積極的に参加し、それを職員内で共有し、教育・保育の質向上に努めている。

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・ 園内研修・園外研修で学んだことを実践に移し、一人ひとりの資質が高まりつつある。
- ・ 保護者向けの子育て講座「思春期を見通す子育て！」サブテーマ「今こそ発揮！家庭の教育力」をもち、子育ての悩みの相談に応じた。
- ・ 就労支援、子育て支援の面では、子どものことを一番に考えて対処している。
- ・ 悩みを抱え込まずに相談するように訴えてきた。
- ・ 町内会、小学校、中学校と連携がとれるようになり、地域のお祭り、小学校との交流、非常時の避難など毎年スムーズに行なえている。

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
・ 危機管理意識を高め、子どもの安心、安全を守る。	・ アレルギー児への対応マニュアル・虐待児への対応マニュアル等を見直して作成し、一人一人が自分のものとしてとらえ、きちんと対応できるようにしていく。
・ 来年度に幼稚園型認定こども園に移行するにあたり、職員や保護者と問題点や課題点を共有して、保育 教育にあたる。	・ 説明会をもつ（職員、在園児、新入園児）
・ 保護者の教育力を高め、共に子ども達の成長発達を促進していく。	・ 子育て講座をもち、全保護者が子どもに対して理解を深め、子どもに愛情を持って接することができるように促していく。
・ 地域にひらかれた子育て支援の拠点となるように、できることを考えて取り組んでいく。	・ 年齢別の子育てひろばでは、保護者に発達の話をし、共に子どもへの関わり方を考えていく。

6、 学校関係者の評価

近年子ども達が遊ぶ場所が減っている中で、毎日広い園庭で元気に走り、また季節に合わせて野菜の苗植えや泥んこ遊びなど、幼児期に貴重な経験をさせてもらいながら、のびのびと過ごせる環境は素晴らしく、保護者としても嬉しく思っております。

集団生活を通して、自分を知り、他人を知り、互いを大切にする事を知りながら成長できているのは、職員の方々子ども達一人一人に寄り添ったり、共感したりしながら日々保育して頂いたおかげだと感じています。

アレルギー対応につきましては、改めて見直して頂いたマニュアルを元に連携をとり、子ども達がより一層安心、安全に成長できる場となるよう、お願い申し上げます。

P T A代表

7、 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。